

# みき通信



日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告

第40号 2014年4月25日

発行 **がんばれくぼたみきの会**

連絡先 875-7126 (阿部)

## 増税反対！ の声をあげよう

この4月から消費税が5%から8%に増税され、あらゆる商品やサービスが値上げされました。消費税増税は、民主党政権時代に民主党と自民、公明の両党が談合して決めたもので、来年10月から、更に10%への増税を狙っています。

「増税による増収分5兆円はすべて社会保障に」と言いながら、実際は増収の1割、5000億円でしかありません。大半は、軍事費や不要不急の大型公共事業、大企業減税に使われているのです。

私たち国民には、年齢によっては医療費の窓口負担増、年金支給額の減額など、増税以外にも負担は増える一方ですが、更に安倍政権は医療費を抑制するために、診療報酬の改定でベット数を減らして、病棟から患者を追い出すなど、医療・介護一体改悪（医療介護総合確保推進）法案の成立をねらっています。

「消費税増税は社会保障のため」というテレビや新聞を使った宣伝、政府広報をご覧になりましたか？。なんと6億円もの税金を使ってこんな宣伝をするほど、増税反対の世論が賛成を上回り、国民は強く反対しているのです。

残念ながら、NHKの報道は政府の言い分を伝えるだけで、他のメディアも買いダメや節約の話題ばかりで、消費税の問題点や増税に反対する声、運動をまともに取り上げることをしていませんでした。

2014年予算は、自民・公明与党が審議をつくさず強行したため、戦後3番目の早いスピードで成立しましたが、与党の暴走を後押しした民主・日本維新の会・みんなの党などの責任も重大です。

これでもかこれでもかと国民に負担を押し付けてくる今の国の在り方をただしていくには、このような背景をしっかりと見極め、あらゆる場で声をあげてゆくことが必要です。

しかたがないと差し出した、血と汗と涙のお金、血税が軍事費にまわり、子や孫、愛する人を戦争に送ることになる・・・。今、そこまで危ない状態になっているのですから。

## まちづくりに住民の声を！！

町会議員 くぼた みき

自然環境を破壊する開発計画や高層マンションの計画に反対する運動をきっかけに、住民の方達でまちづくりを考え、建築基準法や都市計画法だけでは、自然保護や住みやすい町をつくる事が出来ないのではと、自治体独自の自然保護条例や景観条例などが検討されています。

葉山町でも平成17年に葉山の将来像『海とみどりにひろがる文化のまち』の構想に向かって葉山町まちづくり条例が制定されました。

議会に「葉山一色宅地計画に関する陳情書」が出されました。

陳情は、葉山町まちづくり条例に「3000㎡以上の開発事業は面積5%以上の公園を整備しなければならない」など一定の規制がありますが、実教寺付近の宅地開発に関し、3000㎡以上の土地を分割し、小規模開発を先行して行うことで「まちづくり条例」から逃れようとしているのではないかと。また、「樹木の保全や、緑化に努めなければならない」と遵守事項もあるが、現在の樹木保全もしていないのではないかと。先行開発でも山からの水が流れ続けており、今後の開発で水の流れはどうなるのか。などの懸念を挙げて、議会で討議し適切な対応をしてほしいと求めています。

陳情者は、自分たちで多くのことを調べ、町長、都市計画課に対する要望書や請願等で働きかけ、それでも多くの疑問が残り納得できずに議会に働きかけたものです。

総務委員会の中で、「分割の開発業者は別会社で、一体的開発には当たらない」「住民説明会も行っている」と町の説明をうけました。私は、議会としてもっと調べるべきと意見を出しましたが、他の委員は「町は条例にのっとり適切に処理をしている」「条例で可能な限りの指導を業者にし、町民にもできる限りの対応をしている」と、陳情に反対。賛成少数により不採択となり、本会議でも賛成少数により否決されてしまいました。その後、先行業者が、後の開発業者の下請けとして参加しているという話も出ており、「一体開発」と見られてもしかたがないでしょう。

今後、住民も参加する中で、行政と議会が条例逃れの抜け道など無い「葉山町まちづくり条例」にしていく必要があります。